

学校コード F122110106233

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

意見伺い

注2

浜松医科大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 博士後期課程

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人浜松医科大学

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 課長 ^{ネギ}根木 ^{タダヒロ}忠広

電話番号 053-435-2109

（夜間） 053-435-2109

e-mail:ssb@hama-med.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医学系研究科

＜看護学専攻博士後期課程＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人浜松医科大学

(2) 大学名

浜松医科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒431-3125
静岡県浜松市東区半田山1-20-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(コンノ ヒロユキ) 今野 弘之 (平成28年4月)		
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学系研究科 看護学専攻（博士後期課程） 博士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	3 年	3 人	- 年次 人	9 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	3 () []	- () []	1.66 倍	- 倍	
志願者数	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	5 () []	- () []			
受験者数	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	5 () []	- () []			
合格者数	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	5 () []	- () []			
B 入学者数	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	5 () []	- () []			
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		1.66				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	5 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		/		- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)					- [-] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	-	-	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	-	-	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	-	-	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	5 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学系研究科看護学専攻博士後期課程>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護学研究方法論	1通	1			2	1					3
	医療倫理学	1前		2								9
	行動神経科学	1前		2								1
	医学統計学	1後		2								1
	疫学方法論	1・2通		2								3
	小計(5科目)	-	1	8		2	1					17
専門科目	基礎看護学特講	1通		2		1				1		
	基礎看護学特別演習	1通		2		1				1		
	健康科学特講	1通		2		1	1					
	健康科学特別演習	1通		2		1	1					
	小計(4科目)	-		8		2	1			1		
	成人看護学特講	1通		2		2	1					
	成人看護学特別演習	1通		2		2	1					
	高齢者看護学特講	1通		2		1						1
	高齢者看護学特別演習	1通		2		1						1
	小計(4科目)	-		8		3	1					1
リプロダクティブヘルス看護学特講	1通		2		2							
リプロダクティブヘルス看護学特別演習	1通		2		2							
小児看護学特講	1通		2			1	1					
小児看護学特別演習	1通		2			1	1					
小計(4科目)	-		8		2	1	1					
地域看護学特講	1通		2		1	2						
地域看護学特別演習	1通		2		1	2						
精神看護学特講	1通		2		1							
精神看護学特別演習	1通		2		1							
小計(4科目)	-		8		2	2						
特別研究	1~3通	6			9	5						
小計(1科目)	-	6			9	5						
合計(22科目)	-	7	40	0	9	5	1	1				18
卒業要件及び履修方法												
原則として3年以上在学し、共通科目の必修科目1単位と選択科目から2単位以上、専門科目から特講と特別演習各2単位、特別研究の必修科目6単位の合計13単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士後期課程の目的に応じ、博士論文についての研究の成果の審査及び試験に合格しなければならない。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護学研究方法論	1通	1			2	1					3
	医療倫理学	1前		2								9
	行動神経科学	1前		2								1
	医学統計学	1後		2								1
	疫学方法論	1・2通		2								3
	小計(5科目)	-	1	8		2	1					17
専門科目	基礎看護学特講	1通		2		1				1		
	基礎看護学特別演習	1通		2		1				1		
	健康科学特講	1通		2		1	1					
	健康科学特別演習	1通		2		1	1					
	小計(4科目)	-		8		2	1			1		
	成人看護学特講	1通		2		2	1					
	成人看護学特別演習	1通		2		2	1					
	高齢者看護学特講	1通		2		1						1
	高齢者看護学特別演習	1通		2		1						1
	小計(4科目)	-		8		3	1					1
リプロダクティブヘルス看護学特講	1通		2		2							
リプロダクティブヘルス看護学特別演習	1通		2		2							
小児看護学特講	1通		2			1	1					
小児看護学特別演習	1通		2			1	1					
小計(4科目)	-		8		2	1	1					
地域看護学特講	1通		2		1	2						
地域看護学特別演習	1通		2		1	2						
精神看護学特講	1通		2		1							
精神看護学特別演習	1通		2		1							
小計(4科目)	-		8		2	2						
特別研究	1~3通	6			9	5						
小計(1科目)	-	6			9	5						
合計(22科目)	-	7	40	0	9	5	1	1				18
卒業要件及び履修方法												
原則として3年以上在学し、共通科目の必修科目1単位と選択科目から2単位以上、専門科目から特講と特別演習各2単位、特別研究の必修科目6単位の合計13単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士後期課程の目的に応じ、博士論文についての研究の成果の審査及び試験に合格しなければならない。												

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

該当なし

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	2 科目	- 科目	13 科目	11 科目 []	2 科目 []	- 科目 []	13 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{13} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	24,898㎡	— ㎡	— ㎡	24,898㎡			
	運動場用地	38,334㎡	— ㎡	— ㎡	38,334㎡			
	小 計	63,232㎡	— ㎡	— ㎡	63,232㎡			
	そ の 他	237,383	— ㎡	— ㎡	237,383			
	合 計	300,615	— ㎡	— ㎡	300,615			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	42,616㎡ (42,616 ㎡)	— ㎡ (㎡)	— ㎡ (㎡)	42,616㎡ (42,616 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	16室	38室	15室	2室 (補助職員0人)	0 (補助職員0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	大学院医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)			16 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械・器 具 点	標 本 点	図書等の受入及び廃棄 等による増減R4.5.1 (4)
		大学院医学系研究科看護学専攻 (博士後期課程)	49,490 [6,541] (49,490 [6,541])	769 [329] (769 [329])	1,651 [149] (1,651 [149])	992 (992)	3,375 (3,375)	
	計	49,490 [6,541] (49,490 [6,541])	769 [329] (769 [329])	1,651 [149] (1,651 [149])	992 (992)	3,375 (3,375)	1 (1)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		書架等の購入による増 R4.5.1 (4)	
	2,158㎡		375		61,459			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,371㎡		武道館1、弓道場1、プール1、テニスコート4面、グラウンド1、野球場1					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金) による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	浜松医科大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医学部											
医学科	6	115	2年次5	715	学士(医学)	0.98	0.99	令和4	昭和49	静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号	
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	0.93	0.90		平成7	同上	
大学全体	-	175	15	975	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	浜松医科大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医学系研究科											
医学専攻(博士課程)	4	30	-	120	博士(医学)	1.28	1.16		平成24	静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号	
看護学専攻(博士前期課程)	2	16	-	32	修士(看護学)	1.06	1.06		平成11	同上	
看護学専攻(博士後期課程)	3	3	-	9	博士(看護学)	1.66	1.66	令和4	令和4	同上	
光医学共同専攻(博士後期課程)	3	3	-	9	博士(光医学)	0.77	1.00		平成30	同上	
大学院全体	-	52	-	170	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	永田 年 <令和4年4月> 医学博士	専	教授	永田 年 <令和4年4月> 医学博士
		健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究			健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究
専	教授	片山 はるみ <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	片山 はるみ <令和4年4月> 博士(医学)
		基礎看護学特講 基礎看護学特別演習 特別研究			基礎看護学特講 基礎看護学特別演習 特別研究
専	教授	脇坂 浩 <令和4年4月> 博士(看護学)	専	教授	脇坂 浩 <令和4年4月> 博士(看護学)
		成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究			成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究
専	教授	鈴木 みずえ <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	鈴木 みずえ <令和4年4月> 博士(医学)
		高齢者看護学特講 高齢者看護学特別演習 特別研究			高齢者看護学特講 高齢者看護学特別演習 特別研究
専	教授	安田 孝子 <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	安田 孝子 <令和4年4月> 博士(医学)
		リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究			リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究
専	教授	武田 江里子 <令和4年4月> 博士(看護学)	専	教授	武田 江里子 <令和4年4月> 博士(看護学)
		リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究			リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究
専	教授	木戸 芳史 <令和4年4月> 博士(保健学)	専	教授	木戸 芳史 <令和4年4月> 博士(保健学)
		精神看護学特講 精神看護学特別演習 特別研究			精神看護学特講 精神看護学特別演習 特別研究
専	教授	渡井 いずみ <令和4年4月> 博士(保健学)	専	教授	渡井 いずみ <令和4年4月> 博士(保健学)
		看護学研究方法論 地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究			看護学研究方法論 地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究
専	准教授	山下 寛奈 <令和4年4月> 博士(医学)	専	准教授	山下 寛奈 <令和4年4月> 博士(医学)
		健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究			健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	影山 葉子 <令和4年4月> 博士(看護学)
		成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究
専	准教授	坪見 利香 <令和4年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学)
		小児看護学特講 小児看護学特別演習 特別研究
専	准教授	山本 真実 <令和4年4月> 博士(看護学)
		地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究
専	講師	宮城島 恭子 <令和4年4月> 博士(看護学)
		小児看護学特講 小児看護学特別演習
兼任	教授	田中 悟志 <令和4年4月> 博士(理学)
		行動神経科学
兼任	教授	大磯 義一郎 <令和4年4月> 法務博士(専門職)
		医療倫理学
兼任	教授	古屋 淳 <令和4年4月> 博士(数理学)
		医学統計学
兼任	教授	尾島 俊之 <令和4年4月> 博士(公衆衛生学)
		疫学方法論
兼任	教授	梅村 和夫 <令和4年4月> 医学博士
		医療倫理学
兼任	教授	堀井 俊伸 <令和4年4月> 博士(医学)
		医療倫理学

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	影山 葉子 <令和4年4月> 博士(看護学)
		成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究
専	准教授	坪見 利香 <令和4年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学)
		小児看護学特講 小児看護学特別演習 特別研究
専	准教授	山本 真実 <令和4年4月> 博士(看護学)
		地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究
専	講師	宮城島 恭子 <令和4年4月> 博士(看護学)
		小児看護学特講 小児看護学特別演習
兼任	教授	田中 悟志 <令和4年4月> 博士(理学)
		行動神経科学
兼任	教授	大磯 義一郎 <令和4年4月> 法務博士(専門職)
		医療倫理学
兼任	教授	古屋 淳 <令和4年4月> 博士(数理学)
		医学統計学
兼任	教授	尾島 俊之 <令和4年4月> 博士(公衆衛生学)
		疫学方法論
兼任	教授	梅村 和夫 <令和4年4月> 医学博士
		医療倫理学
兼任	教授	堀井 俊伸 <令和4年4月> 博士(医学)
		医療倫理学

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	須田 隆文 <令和4年4月> 博士(医学)
		医療倫理学
兼任	教授	山本 英典 <令和4年4月> 博士(医学)
		医療倫理学
兼任	教授	木村 通男 <令和4年4月> 医学博士
		医療倫理学
兼任	教授	小林 利彦 <令和4年4月> 博士(医学)
		医療倫理学
兼任	准教授	長田 怜 <令和4年4月> 博士(文学)
		医療倫理学
兼任	准教授	Michel Johnson <令和4年4月> 博士(教育学)
		看護学研究方法論
兼任	准教授	中村 美詠子 <令和4年4月> 博士(医学)
		疫学方法論
兼任	准教授	加藤 孝澄 <令和4年4月> 医学博士
		医療倫理学
兼任	助教	柴田 陽介 <令和4年4月> 博士(医学)
		疫学方法論

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	須田 隆文 <令和4年4月> 博士(医学)
		医療倫理学
兼任	教授	山本 英典 <令和4年4月> 博士(医学)
		医療倫理学
兼任	教授	木村 通男 <令和4年4月> 医学博士
		医療倫理学
兼任	准教授	長田 怜 <令和4年4月> 博士(文学)
		医療倫理学
兼任	准教授	Michel Johnson <令和4年4月> 博士(教育学)
		看護学研究方法論
兼任	准教授	中村 美詠子 <令和4年4月> 博士(医学)
		疫学方法論
兼任	准教授	加藤 孝澄 <令和4年4月> 医学博士
		医療倫理学
兼任	助教	柴田 陽介 <令和4年4月> 博士(医学)
		疫学方法論
兼任	教授	秋田 天平 <令和4年4月> 博士(医学)
		看護学研究方法論

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・兼任教員 堀井教授及び小林特任教授退職により、兼任教員 竹内特任教授を追加。
- ・より専門に近い教員が講義を担当するため、看護学研究方法論の担当について、兼任教員 秋田教授を追加。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
9	9	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	4	1		13		8	4	1		13	
(8)	(4)	(1)	()	(13)	()						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
9	3	1				9	3	1			
(9)	(3)	(1)				(9)	(3)	(1)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	4	1		13		8	4	1		13	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
9	3	1				9	3	1			
[]	[]	[]				[]	[]	[]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{13} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1		該当なし						
2								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	計	0

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
--

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし						
2								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	計	0

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
--

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	計

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{13} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

□人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
2										
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人		必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調査時 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大学院医学系研究科看護学専攻教授会【添付資料：大学院医学系研究科看護学専攻教授会規則】 2 大学院博士後期課程(看護学専攻)部会【大学院博士後期課程(看護学専攻)部会内規】 3 教育企画室会議【添付資料：浜松医科大学教育企画室会議規則】 <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程の専任教員等により構成される大学院医学系研究科看護学専攻教授会を年8回程度開催し、運営及び学生支援に関し協議を行う。 [令和4年度] ・第200回大学院医学系研究科看護学専攻教授会 令和4年4月21日(木)13:30-14:05 [出席者 学長、教育・産学連携担当理事、専任教員11名ほか] 2 大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程の専任教員等により構成される博士後期課程部会を年8回程度開催し、運営及び学生支援に関し協議を行う。 [令和4年度] ・第1回大学院医学系研究科看護学専攻教授会 令和4年4月15日(金)17:00-18:30 [出席者 教育・産学連携担当理事、専任教員6名ほか] 3 教育に関する専門的事項等を協議するため、教育企画室会議を月1回程度開催する。 [令和4年度] ・第1回教育企画室会議 令和4年4月20日(水)16:00-17:30 [出席者 教育・産学連携担当理事、専任教員2名ほか] <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大学院医学系研究科看護学専攻教授会 <ol style="list-style-type: none"> (1) 看護学専攻の学生の入学及び課程の修了 (2) 学位の授与 (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聞くことが必要なものとして学長が別に定めるもの 2 大学院博士後期課程(看護学専攻)部会 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育課程の編成及び授業に関すること。 (2) 学生(研究生、科目等履修生、聴講生等を含む。以下同じ。)の修学指導に関すること。 (3) 学生の入学(入学試験委員会が所掌する事項は除く。)、浜松医科大学学則第53条及び第54条の規定による退学並びに除籍に関すること。 (4) 学生の支援に関すること。 (5) 学位の授与に関すること。 (6) その他大学院に関すること。

3 教育企画室会議

- (1) 企画室に係る中期目標・中期計画(進捗状況のモニタリングを含む。)に関する事項
- (2) 企画室に係る予算に関する事項
- (3) 企画室に係る業務実績報告に関する事項
- (4) 教育方針の策定に関する事項
- (5) 教育の評価・改善に関する事項
- (6) その他教育及び国際交流に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

大学院博士後期課程（看護学専攻）部会等において、FD・SD活動を含む、教員の資質の維持向上の方策等を検討するとともに、授業評価アンケート等授業改善に資する必要な活動を適宜実施する。

b 実施方法

今年度中の実施を検討している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

今年度中の実施を検討している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学院博士後期課程（看護学専攻）部会等において、FD・SD活動を含む、教員の資質の維持向上の方策等を検討するとともに、授業評価アンケート等による評価を行い、授業改善に向け適切なフィードバックを行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各年度の講義がすべて終了後に授業評価アンケートを実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和3年度中に初回となる入試を実施し、初年度は入学定員を超える入学者数となり、目標達成にむけて精力的活動を行っている。

立ち上げ初年度としては、順調に諸活動を実施しており、大学院医学系研究科看護学専攻教授会等の活発な議論に基づき、今後も着実に計画を実施し発展することを目指す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 未定（最初の自己点検を令和7年度に実施予定）

b 公表方法

- ・ 未定（検討中）

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 未定（検討中）

（注） ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻教授会規則

(平成 16 年 4 月 1 日規則第 26 号)

改正 平成 19 年 1 月 11 日規則第 3 号 平成 21 年 3 月 12 日規則第 11 号

平成 27 年 3 月 12 日規則第 4 号 令和 4 年 1 月 26 日規則第 2 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、浜松医科大学学則(平成 16 年規第 25 号。以下「学則」という。)第 14 条第 2 項の規定に基づき、浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻教授会(以下「教授会」という。)の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第 2 条 教授会は、学長及び大学院医学系研究科看護学専攻の担当教授(以下「構成員」という。)をもって組織する。

(学長に意見を述べる事項)

第 3 条 教授会は、学長が次に掲げる事項について看護学専攻に係る決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 看護学専攻の学生(以下「学生」という。)の入学及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聞くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

(報告事項)

第 4 条 学長は、学則第 50 条第 1 項若しくは第 2 項、第 51 条又は第 52 条の規定により、それぞれ学生の休学、復学又は退学を許可したとき、その旨を教授会に報告するものとする。

(会議の招集及び議長)

第 5 条 学長は、教授会を召集し、その議長となる。

2 教授会は、原則として毎月 1 回開催する。ただし、学長が必要と認めたときは、臨時に会議を召集することができる。

3 議長に事故あるときは、あらかじめ学長が指名した構成員がその職務を代行する。

(会議の成立及び議決方法)

第 6 条 教授会は、構成員の過半数(委任状を含む。)が出席しなければ議事を開くことができない。

2 議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(構成員以外の者の出席)

第 7 条 役員は、必要に応じて教授会に出席し、意見を述べることができる。

- 2 議長は、必要があると認めるときは、関係の職員等を教授会に出席させ意見を聞くことができる。

(部会)

第8条 教授会に特定の事項を調査又は検討するため、必要に応じて部会を置くことができる。

- 2 部会の委員は、学長が委嘱する。
- 3 部会の委員に、構成員以外の職員等を加えることができる。
- 4 部会の運営に関し必要な事項は、教授会の議を経て別に定める。

(庶務)

第9条 教授会の庶務は、学務課において処理する。

(規則の改廃)

第10条 この規則の改廃は、教育研究評議会及び教授会に諮って、学長が行う。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 第2条に規定する構成員に、当分の間、准教授を加えることができる。

附 則(平成19年1月11日規則第3号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年3月12日規則第11号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月12日規則第4号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(令和4年1月26日規則第2号)

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

○浜松医科大学大学院博士後期課程（看護学専攻）部会内規

(令和4年1月26日内規第7号)

(設置)

第1条 浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻教授会規則(平成16年規則第26号)第8条の規定に基づき、大学院博士後期課程（看護学専攻）部会（以下「部会」という。）を置く。

(目的)

第2条 部会は、大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程（以下「博士後期課程」という。）の運営及び学生支援に関し協議を行い、その円滑な運営を図ることを目的とする。

(協議事項)

第3条 部会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 教育課程の編成及び授業に関すること。
- (2) 学生(研究生、科目等履修生、聴講生等を含む。以下同じ。)の修学指導に関すること。
- (3) 学生の入学(入学試験委員会が所掌する事項は除く。)、浜松医科大学学則(平成16年規則第25号)第53条及び第54条の規定による退学並びに除籍に関すること。
- (4) 学生の支援に関すること。
- (5) 学位の授与に関すること。
- (6) その他大学院に関すること。

(組織)

第4条 部会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 理事(教育・産学連携担当)
- (2) 看護学専攻から選出された博士後期課程担当の教授又は准教授 6名
- (3) 事務局次長(総務・教育担当)及び学務課長
- (4) その他部会長が必要と認める者

(任期)

第5条 前条第2号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

第6条 部会に部会長を置き、委員の互選により選出する。

- 2 部会長は、部会を召集し、その議長となる。
- 3 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した委員が前項の職務を代行する。

(会議の成立)

第7条 部会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
(庶務)

第8条 部会に関する事務は、学務課において行う。

附 則

- 1 この内規は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 浜松医科大学看護学専攻（博士後期課程）設置準備委員会要項（令和3年要項第40号）は廃止する。

○国立大学法人浜松医科大学教育企画室規則

(平成 26 年 3 月 25 日規則第 5 号)

改正 平成 27 年 3 月 25 日規則第 14 号 平成 28 年 4 月 25 日規則第 16 号

平成 31 年 3 月 27 日規則第 3 号 令和 2 年 3 月 31 日規則第 9 号

令和 3 年 3 月 18 日規則第 7 号 令和 3 年 11 月 24 日規則第 12 号

令和 4 年 1 月 26 日規則第 6 号 令和 4 年 3 月 22 日規則第 9 号

(趣旨)

第 1 条 国立大学法人浜松医科大学組織規則(平成 16 年規則第 1 号)第 17 条第 3 項の規定に基づき、国立大学法人浜松医科大学の教育企画室(以下「企画室」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第 2 条 企画室は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 理事(教育・産学連携担当)
 - (2) 副学長(教育担当)
 - (3) 医学科基礎講座のうち、総合人間科学講座の教授又は准教授 若干人
 - (4) 医学科基礎講座(総合人間科学講座を除く。)の教授又は准教授 若干人
 - (5) 医学科臨床講座の教授又は准教授 若干人
 - (6) 看護学科講座の教授又は准教授 若干人
 - (7) 医学教育推進センター長
 - (8) 国際化推進センター長
 - (9) 教務委員会委員長
 - (10) 学生委員会委員長
 - (11) 大学院博士前期課程部会長
 - (12) 大学院博士後期課程(看護学専攻)部会長
 - (13) 大学院医学専攻部会長
 - (14) 大学院光医工学共同専攻運営委員会委員(本学所属の者に限る) 1 人
 - (15) 事務局次長(総務・教育担当)
 - (16) その他理事(教育・産学連携担当)が必要と認めた者
- 2 前項第 3 号から第 6 号及び第 16 号に規定する者のうち、少なくとも 1 人は、国立大学法人浜松医科大学教育研究評議会規則(平成 16 年規則第 5 号)第 2 条に定める評議員でなければならない。

(協議事項)

第 3 条 企画室は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 企画室に係る中期目標・中期計画(進捗状況のモニタリングを含む。)に関する事項
- (2) 企画室に係る予算に関する事項

- (3) 企画室に係る業務実績報告に関する事項
- (4) 教育方針の策定に関する事項
- (5) 教育の評価・改善に関する事項
- (6) その他教育及び国際交流に関する事項

(任期)

第4条 第2条第1項第3号から第6号及び第10号に規定する者の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その任期の末日は、学長の任期の末日とする。

(企画室の招集等)

第5条 企画室は、理事(教育・産学連携担当)が招集し、その議長となる。

2 企画室は、原則として月1回開催する。ただし、必要があるときは、臨時に開催することができる。

3 議長に事故があるときは、あらかじめ議長が指名した者が、その職務を代行する。

(構成員以外の出席)

第6条 企画室は、必要に応じ、職員等を出席させ、説明又は報告を求めることができる。

(委員会)

第7条 企画室は、必要に応じ、委員会を置くことができる。

2 委員会について必要な事項は、企画室が別に定める。

(庶務)

第8条 企画室の庶務は、学務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、企画室の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月25日規則第14号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年4月25日規則第16号)

この規則は、平成28年4月25日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則(平成31年3月27日規則第3号)

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月31日規則第9号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則(令和3年3月18日規則第7号)

この規則は、令和3年3月18日から施行する。

附 則(令和3年11月24日規則第12号)

この規則は、令和3年11月24日から施行する。

附 則(令和4年1月26日規則第6号)

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和4年3月22日規則第9号)

この規則は、令和4年4月1日から施行する。